

熊本市公共事業環境配慮指針に基づく
環境配慮の実施状況について
(平成29年度報告)

平成30年7月

熊本市環境局環境推進部環境政策課

熊本市公共事業環境配慮指針に基づく環境配慮の実施状況について
(平成 29 年度報告)

本市の公共事業において、「熊本市公共事業環境配慮指針」に基づく環境配慮の実施状況について報告するものである。今回、報告対象としているのは、平成 29 年度中に公共事業環境配慮評価会議で評価した事業(第 1 種事業)、チェックシート等で評価した事業(第 2 種事業)、工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業である。

【重点配慮事項について】

環境保全都市宣言や環境総合計画等に基づくもので、公共事業を構想・計画する段階での環境配慮の必須事項としている。

重点配慮事項	主な配慮事項
1 環境保全型エネルギーの活用	太陽光発電設備の導入
2 省エネルギーの推進	省エネルギー型照明等の導入
3 その他温室効果ガスの発生抑制	アイドリングストップの促進やノンフロン製品の採用
4 地下水のかん養及び保全	雨水浸透ますの設置や節水型給水設備の設置
5 緑の創出及び保全	敷地面積の 20%以上の緑化目標
6 建築廃棄物の減量及びリサイクルの推進	再生骨材等の利用

※ 各重点配慮事項の詳細は、熊本市公共事業環境配慮指針 9 ページ以降参照

1 指針に基づき評価を行った事業

(1) 公共事業環境配慮評価会議で評価した事業 (第 1 種事業) 3 件

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
【造成事業】 熊本駅白川口(東口)駅前 広場整備事業 (熊本駅周辺整備事務所)	設計中	1	太陽光発電と風力発電を併設したハイブリット型照明は、設置効果や景観デザイン等様々な視点から検討
		2	LED 照明の設置
		3	アイドリングストップ等の徹底
		4	透水性舗装の採用
		5	みどりの指針に則った植栽計画を検討
		6	再生骨材の使用 建設廃棄物の再資源化を適正に実施 建設発生土は工事間利用を図り、調整がつかない場合は適正に処理

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
<p align="center">【建築物整備事業】</p> <p align="center">東部堆肥センター新築工 事 (水保全課)</p>	工事中	1	太陽光発電設備は、施設の特性（構造、腐食ガスの発生）を考慮し設置しないが、当施設内で発生する汚水を東部浄化センターへ運搬し、そこで消化ガス発電を実施する。
		2	LED 照明等の設置
		3	代替フロン等製品の採用
		4	雨水浸透ますの設置 ※透水性舗装等は汚水浸透を考慮し施工予定なし
		5	芝による緑化目標は達成予定だが、別途高木等を用いた樹木等の植栽を検討
		6	再生資材等の使用 建設廃棄物の再資源化を適正に実施 建設発生土は有効利用し、余剰分は適正に処理
<p align="center">【建築物整備事業】</p> <p align="center">(仮称) 秋津災害公営住宅 建設工事 (震災住宅支援課)</p>	設計中	1	太陽光発電設備は都合により設置不可
		2	イニシャル・ランニングコスト、入居者負担、他団地とのバランスを考慮した検討を実施
		3	アイドリングストップ等 ノンフロン又は代替フロン製品の採用
		4	雨水浸透ますの設置 透水性舗装、節水型給水設備の採用
		5	みどりの指針に則った計画を検討
		6	再生骨材等の使用 建設廃棄物の再資源化を適正に実施 建設発生土は工事間利用及び適正処理を実施

(2) チェックシート等が更新された事業（第1種事業） 2件

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
【河川整備事業】 準用河川改修事業 (西部土木センター河川 公園整備課)	工事中	3	アイドリングストップ等
		4	汚水・濁水の影響を低減するための適切な施工
		6	再生骨材、アスファルトの使用 建築廃棄物・建設発生土の発生抑制等
		他	ポーラスブロックを使用した環境に配慮した構造
【建築物整備事業、 造成事業】 市民病院再建事業 (新病院開設課)	工事中	1	太陽光発電（20kW）を設置
		2	照度センサー制御照明を設置
		4	雨水散水利用設備、節水機器、透水性舗装の採用 杭工事に伴う地下水質管理実施
		6	建築廃棄物の再資源化、適正処理等の実施 建設発生土の発生抑制等

※ 当該事業は平成26年度及び28年度公共事業環境配慮評価会議で評価済み。
これまでの報告に記載していない実施予定項目を記載

(3) チェックシート等が提出された事業（第2種事業） 20件

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
【道路・街路整備事業】 主要地方道熊本高森線（桜 町工区）道路改築工事 (都心活性推進課)	工事中	3	アイドリングストップ等 排出ガス量を軽減する機械の使用
		5	植樹柵の設置 景観に配慮した陽光桜の植樹
		6	路盤材料及び舗装材料は原則再生材を使用 建設廃棄物は全て中間処理場へ搬入し、適正 処理を実施 建設発生土は可能な限り現場内流用、工事間 流用を実施

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
【道路・街路整備事業】 市道東町第2号線外道路改良工事 (東部土木センター道路課)	工事中	2	LED光源の道路照明灯の設置
		3	アイドリングストップ等
		4	歩道には透水性舗装を採用
		6	再生骨材、再生加熱アスファルトを使用 コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の再資源化処理
【道路・街路整備事業】 国道266号(田井島地区) 電線共同溝整備工事(その 5) (東部土木センター道路課)	工事中	3	アイドリングストップ等
		4	歩道には透水性舗装を採用
		6	再生骨材、再生加熱アスファルトを使用 コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の再資源化処理
【軌道整備事業】 ・健軍町分岐更換及び市立 体育館前渡り線撤去工 事 ・八丁馬場曲線軌条更換工 事 (電車課)	工事 入札前	3	排ガス規制建設機械の使用
		4	搬入土砂等は土壌環境基準に適合したものを 使用
		6	仮舗装時のアスファルト材料、路盤材は再生 骨材を使用 コンクリート塊等は再資源化、適正処理を実 施 建設発生土は工事間利用を促進
【下水道整備事業】 坪井川第3排水区浸水対策 事業 (河川課)	工事中	3	アイドリングストップ等
		4	地下水保全条例に基づく申請及び協議を工 事進捗に合わせて随時実施
		6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等 を使用 建設廃棄物の再資源化、適正処理等を実施 建設発生土の全量を工事間流用
【下水道整備事業】 坪井川第5排水区雨水幹線 整備事業 (河川課)	工事中	3	アイドリングストップ等
		4	薬液注入を行う場合は、観測孔を設置して地 下水の監視を実施
		6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等 を使用 建設廃棄物の再資源化、適正処理等を実施 建設発生土の工事間利用

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
【建築物整備事業】 (仮称) 消防局東側庁舎増 築及び震災復旧等工事 (管理課)	工事 入札前	1	太陽光発電 (5.5kW) を設置
		2	高効率照明器具の設置
		3	アイドリングストップ等 代替フロン又はノンフロン製品の採用
		4	雨水浸透ますの設置、透水性舗装の採用 鋼管杭工法の採用
		6	再生骨材の使用
【建築物整備事業】 勤労者福祉センター冷暖 房換気設備改修工事 (経済政策課)	工事中	2	グリーン購入法適合製品の採用
		3	オゾン層破壊物質を使用しない製品の採用
【建築物整備事業】 城南まちづくりセンター 等建替事業 (城南まちづくりセンター)	設計前	1,2,3 ,4,5, 6	全ての項目について、設計段階で考慮
【建築物整備事業】 (仮称) 富合地域コミュニ ティセンター建設工事 (地域活動推進課)	工事 入札前		
【建築物整備事業】 西山中学校屋内運動場増 改築事業 (施設課)	工事中	2	LED 照明の設置
		3	アイドリングストップ等 ノンフロン製品の採用
		4	雨水浸透ますの設置
		6	再生骨材の使用、建設廃棄物の再資源化、適 正処理の実施
【建築物整備事業】 託麻東小学校 (第 34 棟東 側) 校舎増築事業 (施設課)	工事 入札前	2	LED 照明の設置
		3	アイドリングストップ等 ノンフロン製品の採用
		4	節水機器の採用 雨水浸透ますの設置
		6	再生骨材の使用、建設廃棄物の再資源化、適 正処理の実施

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
【建築物整備事業】 京陵中学校水泳プール改 築事業 (施設課)	未定	2	省エネ型照明の設置
		3	ノンフロン製品の採用
		4	節水機器の採用 雨水浸透ますの設置
		6	再生骨材の使用、建設廃棄物の再資源化、適 正処理の実施
【建築物整備事業】 ・二岡中学校屋内運動場増 改築・武道場新築事業 ・富合中学校水泳プール改 築事業 (施設課)	設計前	2	LED 照明の設置
		3	ノンフロン製品の採用
		4	節水機器の採用 雨水浸透ますの設置
		6	再生骨材の使用、建設廃棄物の再資源化、適 正処理の実施
【建築物整備事業】 ・東本町団地外壁改修工事 ・武蔵ヶ丘団地外壁改修工 事 (住宅課)	工事中	6	重機は低排出ガス認定車を使用 金属クズ、伐採材の再資源化
【建築物整備事業】 男女共同参画センター施 設整備事業 (男女共同参画課)	設計中	3	アイドリングストップ等 代替フロン製品の採用

2 工事完了後に環境配慮結果が報告された事業（主な実施例）

工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業（第2種事業） 計8件

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	重点 配慮 事項	主な実施項目
【道路・街路整備事業】 上熊本駅東口駅前広場等整備事業 (熊本駅周辺整備事務所)	2	LED 照明灯の設置
	3	交通結節点の整備により公共交通利用を促進（乗り換え利便性を高めた整備） 排出ガス対策及び低騒音型の建設機械を使用
	4	透水性舗装を採用 地下水保全や土壌汚染に配慮
	5	植樹帯の設置
	6	再生骨材の使用、建築廃棄物の再資源化、建設発生土の適正処理
【道路・街路整備事業】 都市計画道路 上熊本法成寺線整備事業 (熊本駅周辺整備事務所)	2	LED 照明灯の設置
	3	工事仕様においてアイドリングストップ指示事項あり 法令遵守を指導
	4	搬入土砂等は土壌環境基準に適合し、上質試験に合格したものを使用
	6	再生材の使用、金属型枠も可能な限り使用 建設廃棄物の適切な処分 建設発生土は余剰発生させない
【軌道整備事業】 新水前寺駅前電停～国府電停間軌条 更換及び渡り線新設工事 (交通局電車課)	3	排ガス規制建設機械の使用
	4	搬入土砂等は土壌環境基準に適合したものを使用
	6	仮舗装時のアスファルト材料、路盤材は再生骨材を使用 コンクリート塊等は再資源化、適正処理を実施
【建築物整備事業】 (仮称) 新西部環境工場余熱利用施設整備事業 (環境施設課)	1	新西部環境工場の電力及び温水の利用
	3	代替又はノンフロン製品の採用
	4	浴槽の温水循環、節水型トイレ、ワンストップ水栓の採用 雨水浸透ます、透水性舗装の採用
	5	芝生広場の設置（敷地内の緑化率 20%）
	6	再生骨材の使用 建設発生土の発生抑制、有効利用、適正な利用

【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	重点 配慮 事項	主な実施項目
【建築物整備事業】 熊本博物館リニューアル整備事業 (熊本博物館)	2	LED 照明器具の設置
	3	アイドリングストップ、経済運行速度の遵守 代替フロン製品を採用 旧空調からのフロンを適正に回収
	6	建築廃棄物の適正処理、再資源化
【建築物整備事業】 楡木地域コミュニティセンター建設 工事 (地域活動推進課)	2	LED 照明器具の一部設置
	3	アイドリングストップ、経済運行速度の遵守 代替フロン製品を採用
	6	再生クラッシュラン、金属型枠を使用 建設発生土の発生抑制、適正処理 建設廃棄物の適正処理
【建築物整備事業】 デジタル防災行政無線整備工事 (危機管理防災総室)	3	アイドリングストップ、経済運行速度の遵守
	4	掘削深度は 1.8m 程度
	6	再生骨材、金属型枠等を使用 建設発生土の発生抑制、適正処理 建設廃棄物の適正処理
【建築物整備事業】 職業訓練センター実習棟その他改修 工事 (経済政策課)	2	LED 照明器具の設置
	3	工事車両のエコドライブ 代替フロン製品を採用
	4	設置するトイレは節水型機器を使用
	6	再生クラッシュラン等の再生骨材を使用 建設発生土の排出抑制 建設廃棄物は再資源化施設へ搬入し再資源 化を実施

※ 第 1 種事業、第 3 種事業該当なし